第 387 号
平成29年10月18日（水）発行

下商物語（その四十一）

体育館のはなし

本校教諭　林　俊行

昨年、耐震と照明（LEDに）工事が完了した本校の体育館は、昭和四十七年の創立八十八周年記念に竣工されたものです。昭和四十四年に当時の関係者（PTA役員・同窓会役員・校内検討委昭和員）の方々が市当局に陳情・請願して、昭和四十六年の暮れに起工され、昭和四十七年の夏に完工し、その年の十月十八日（創立記念日）に盛大に落成式が挙行されました。

記録によると、建築費総額は一億一千八百万六千円で、設備費は八百二十五万一千五百円で公費（国庫補助金・市費負担金等）以外での不足金は、学校負担金（寄付金五千万円）で賄われました。この新体育館は、鉄筋コンクリート造り三階建で、西日本の公立高校では類を見ない規模を持つ体育館でした。一階には、各議場やトレーニング教室等があり、二階には広いフロアー（バスケットコート二面・バレーコート三面・バドミントンコート六面）など当時は考えられない広さと充実した体育器具を完備していました。

記念行事として、体操実演会で日高義晴監督以下六名の日本体育大学器械体操部の素晴らしい選手の方々が来校されました。ミュンヘンオリンピックで大活躍され国際的に名を馳せた選手の方々を簡単に紹介してみますと

①**藍物永三選手**　日本体育大学教員　ミュンヘンオリンピック出場

②**岡村輝一選手**　岐陽銀行東京支店勤務　ミュンヘンオリンピック出場

③**藤本　俊選手**　日本体育大学　全日本大学選手権記録保持者　ミュンヘンオリンピック出場

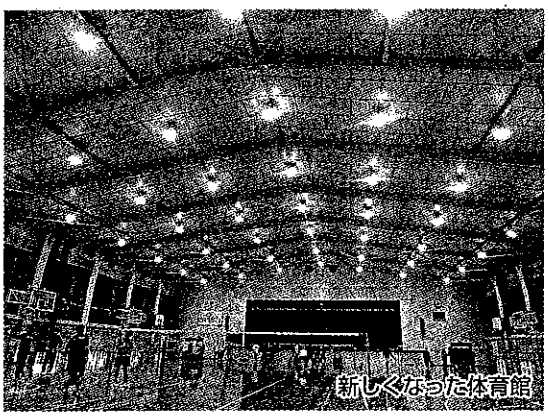
④**平島栄子選手**　日本体育大学　ミュンヘンオリンピック出場

⑤**羽生和永選手**　日本体育大学　ミュンヘンオリンピック出場

といった素晴らしい方々が模範演技を来賓の方々や全校生徒・教職員の前で演技をされました。筆者が一年生の時でその素晴らしい演技は、今でも鮮明に思い出されます。体育教官室に色紙が掲げられていますが、その方々が当時寄せ書きをされて記念に残されたものです。当時の体育科の佐志田規広先生が日本体育大学のご出身で、体操部の有名な選手として活躍されておられ、後輩にあたる方々が本校体育館の柿落としに来られた経緯があるようです。一世を風靡した選手の方々がこれだけ勢揃いされたことに感動を覚えました。

この度の工事は、耐震補強構造・照明（LED　7×8基）などを中心に昨年の夏から十二月下旬にかけて行われました。バスケットリングや校歌ボードなども耐震対策を施工され、竣工時に取り付けられていた体操器具類（かつては体操部が練習で使用）が取り除かれました。

筆者が一年生の時にこの体育館が完成しましたが、当時は西日本一の施設で、フロアーが二階にあるといった構造（通常は一階）に圧倒されたことを思い出されます。明るく耐震設備が整った施設で、体育の授業や部活動がより活発に生徒の皆さんが活躍できる場が出来たことに安心感を覚えます。いずれにしても、立派な体育館と講堂が揃っていることは有り難いですね。参考までに、体育館近くにあるプールは、二年後の昭和四十九年に完成したものですが、こちらも当時の有名な水泳選手団をお招きして柿落しを行いました。中央部分の水深が深いのは、当時は水球もできるようにとの思いから敢えて深くされているとのことのようです。生徒の皆さんは中央付近に差し掛かったら懸命に泳いで水泳が上達していくのではないでしょうか。


新しくなった体育館